

タカチホヘビ

Achalinus spinalis Peters
トカゲ目・タカチホヘビ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内全域に生息する。しかし、夜行性のため確認数が少なく、大型開発環境アセス資料以外に確認記録はほとんどないため、評価するだけの情報が不足している。

種の特徴

全長は 30 ～ 60cm 程度の小型のヘビ類。体色は幼体では暗褐色であるが、成長するに伴い黄褐色となる。背面中央には頭部～尾まで細い黒色条がある。低地～山地の林床に生息し、落ち葉や地中で生活しミミズ等を食べる。乾燥に弱く、夜行性である。

分布

本州、四国、九州等に分布する。本県では、嶺南～嶺北地方の広い範囲に分布しているが、過去に確認されていた平野部での記録は近年ほとんどない。

生息を脅かす要因

圃場整備や道路整備等による生息環境の改変が主な要因である。また、天敵となるであろうイノシシや、下草を食べ林床の乾燥化を招くニホンジカの増加との関係についても注目していく必要がある。

参考文献 福井県編 (2002)、内山ら (2002)、高田・大谷 (2011)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○		○	○		○	○			○	○			○	○

ヒバカリ

Hebius vibakari vibakari (Boie)
トカゲ目・ナミヘビ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の里山全域に局所的に生息するが、生息数は少ない。主に朝と夕方に行動するため確認数も少なく、評価するだけの情報が不足している。餌条件が悪化し、減少している可能性がある。

種の特徴

全長は 40 ～ 60cm 程度の小型のヘビ類。低地～山地の森林や草地に生息し、特に水辺や湿地に多く、水田や水路周辺でも確認される。泳ぎがうまく、カエル類やそのオタマジャクシ、小魚等の水中の生物やミミズ等を食べる。

分布

本州、四国、九州等に分布する。本県では、嶺南～嶺北地方の広い範囲に分布しているが、確認数は少ない。

生息を脅かす要因

里山周辺の圃場、農業用水路整備や道路建設等により、生息地が直接的に改変されることが主な要因である。水辺で採餌する小型のヘビであり、水路のコンクリート化は本種の陸地への移動阻害となるとともに、餌動物となるカエル類の生息にも影響を与える。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会監修 (1999)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、福井県編 (2002)、内山ら (2002)、高田・大谷 (2011)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

シロマダラ

Dinodon orientale (Hilgendorf)
トカゲ目・ナミヘビ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内に広く生息する。しかし、夜行性のため確認数が少なく、大型開発環境アセス資料以外に確認記録はほとんどないため、評価するだけの情報が不足している。

種の特徴

全長は、30 ～ 70cm 程度。体色は灰褐色で黒の横帯が並ぶ。低地～山地に生息し、日中は石や倒木の下、里山の家屋の周辺等に潜み、夜間に活動する。トカゲやヘビ類といった小型爬虫類等を食べる。

分布

本州、四国、九州等に分布する。本県では、嶺北を中心に広く確認されている。山中での確認が主であり、里地では減少している。

生息を脅かす要因

宅地開発、護岸工事、道路建設等土地の改変による生息場所の減少と餌となる小動物の減少が主な要因である。里地での減少は、住宅等の構造が近年変化していることも一因である。

参考文献 松橋・富田 (2007)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、福井県編 (2002)、内山ら (2002)、高田・大谷 (2011)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○			○	○			○	○